医療的ケア児等の防災・避難マニュアル　フロー図

～「その時」が来る前にできること～

自宅や学校・通所先周辺はどんな災害が予想されるか、予想される被害の大きさはどのくらいか、知っている

いいえ・わからない

市町村のホームページや役場等に問い合わせて「ハザードマップ」を見て災害危険度を把握しておきましょう。

はい・知っている

学校や通所先からの一時避難先はどこ？

災害別の一次避難所を知っている

地震・水害・土砂災害など、**災害によっては避難先が違います**。市町村に問い合わせて避難所を確認しておきましょう。

ウチの避難所・・・

★地震【　　】

★水害【　　】

★土砂災害【　　】

一次避難所までの避難やお迎えの安全なルートを把握できている

避難所までの道路で、冠水、ブロック塀の倒壊など、危険が予測されるところを把握して、避難ルートを考えておきましょう。

自宅の被害状況は？

自宅は無事！(*^-^*)
余震や二次災害の恐れがなければ、自宅にとどまる方が無難

自宅避難、もしくは緊急避難先（下枠）に避難していることを近所の人に頼んだり、玄関前に掲示したりして、区長さんや保健師さんに伝えます。

避難や安否確認で協力してくれるご近所さんはいますか？

ご近所さんには避難の手伝いをお願いするよりは・・・

自宅が被災した(+_+)
健康な家族は一時避難所へ。要支援者と付き添い者は自家用車内で待機、相互に連絡を取り合おう。
・・・福祉避難所が開設されたら
家族全員でそこを目指す！

特別な配慮が必要な児・者のための「福祉避難所」が開設されるまでには数日かかります。
実際には・・・福祉避難所は「常時介助者がつく歩ける人」のためのところ、とも言われています。

∴　一時的に「電源と暖かく安全な部屋」を提供してくれるところ
:緊急避難入所・入院先を複数確保しましょう
【　　】裏面★欄

地域の避難訓練や防災の行事に、ご本人と一緒に参加してみましょう。
近所の人の理解と協力体制を得るいい機会です。
電源や備蓄の必要性を理解してもらい、ほかの要支援者と共用できるように、発電機やおむつなど、必要物資を地区の備品として準備してもらえた例もあります。

平時から、自分と家族の災害対応を考えておきましょう。
＝「**災害時個別支援計画**」を
支援者と一緒に立てよう

ウラへ

災害時避難行動要援護者台帳に登録してある

地区担当の民生委員さん、区長さんもしくは保健師さんをとおして台帳に登録してもらいましょう！

要援護者台帳をもとに安否確認が行われます。台帳の個人情報を共有し、安否確認してくれる人をお家でもきめておきましょう。

電話…災害時用公衆電話（特設公衆電話）は災害時に優先される回線です。
安否確認の報告先：市町村地区担当保健師・区長

さん

（　　）
民生委員さんや相談支援専門員さん、**訪問看護師**さん、学校の先生など、普段から頼れる人を介してでも。

（　　）
在宅酸素・人工呼吸器等**医療機器のメーカー担当**

（　　）

ご近所さんや家族の中の誰かには、避難所との連絡係をお願いするのが現実的です。

① 医療的ケア児等と家族が
自宅避難／車中避難／知人宅・お宿等へ避難していること、
本人と家族の体調
備蓄状況（何日間くらい頑張れそうか）等
を保健師さん・区長さんに伝えてもらう

② それ以降も体調と安否や要望を避難所や保健師さん・区長さんに伝えてもらい、必要があれば避難入院のコーディネートを依頼する

③ 援助物資が届き始めたら行列に並んでもらい、モノも届けてもらいましょう

長野県
障がい者支援課
医療的ケア児等支援
スーパーバイザー